



つぼみ保育園年報 第28号

2025年(令和7年)9月1日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24
<http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/>

「ある保育園」の思い出 理事長 大浦 純平

(元:さわらび保育園 保父 / 前:つぼみ保育園 園長)



今年三月末、福岡市博多区のお寺が運営する「花ぞの保育園」が経営難を理由に閉園しました。在園児数十名が突然の転園を余儀なくされた。この報道に心が痛みました。というのも、戦後、満州鉄道学校で講師をしていた私の祖父が母を連れて引き揚げてきた折、昔の「僧仲間」であつた当時のそのお寺の住職さんが「うちの境内にある保育園を運営してくれないか」と言ってくれ、浪々の身であつた祖父は有難く携わることとなりました。母は祖父と共に園の敷地内にある小寺に住み込み、主任保母として保育の世界に入りました。やがて母は結婚、私と弟が生まれ大卒卒業の頃までそこでの生活が続きました。……

その後、母は「さわらび保育園」を開設し、後継の私が「新宮つぼみ保育園」を開設し、分園を二ヶ所付設しました。保育園経営の社会福祉法人としてはそこそこの規模に育つてきました。そして今年、多くの方々に支えられ、輔仁会も還暦を迎えることとなりました。心より感謝申し上げます。私も在籍47年、第4コーナーを曲がりゴールも直前になりました。スマートにゴールテープを切るつもりでいます。その時までどうぞ宜しくお願い致します。

変わらないものを大切に 法人本部 次長 大浦 まゆみ

(元:つぼみ保育園 事務主任 / 前:新宮つぼみ保育園 園長)



今年60周年を迎えた輔仁会。私が在職した40年の間「つぼみ、さわらび、新宮つぼみ」3園の歩みを見てきました。この間の世の中の変わり様には驚きの連続です。昭和の時代に何もかも手書きだったことが、パソコンであつたという間にデータ化できる。人々はスマホを手にし、文字でも声でも映像でも、どんな遠い場所であろうと、瞬時に連絡を取ることができる。便利な機械が作られ家事は楽になり、物が溢れ人々の暮らしは豊かになったでしょう。しかし変わらないものもあります。幼い子どもの澄んだ瞳の輝き、子どもに向ける保育者の温かい

まなざし。言葉も画も良質の絵本、心地よい歌声、美しい音で奏でられる音楽……。時代の変化により保育の方法が変わったことはあつても、輔仁会の理念は変わりません。まず子どもの「気持ちを受けとめる」こと。人と人との関りだから。60年の中で輔仁会の保育に情熱を傾けてくれた沢山の職員の方々に感謝しつつ、今後も、時代の変化に対応しながらも良いものを守り、更に質の高い愛される3園になることと、未だ果たされていない世界の平和を願います。

法人本部副次長兼さわらび保育園副園長の大浦哲平です。いつも各園の運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。輔仁会に入職して早いもので一年が経ちました。今まで経験のなかつた保育の世界に飛び込み、最初は戸惑うことばかりでしたが、子どもたちの笑顔や日々の成長、そして頼もしい職員達からの温かい指導と支えのおかげで、一年間歩んでくることができました。職員の方々にこの場を借りて、改めて感謝申し上げます。この一年、各園の保育の現場に立ち会わせていただき、現場で奮闘する職員の保育に対する情熱を感じながら、自分自身もたくさんの子どもたちの個性に向き合ってきました。保育という仕事は、時にはつきりした正解がないと

一年が経ちました

さわらび保育園 副園長
法人本部 副次長 大浦 哲平

関係を大切にしながら、時代に合った保育サービスを提供するべく、年々変化・複雑化している保育制度や保育園に求められる機能役割等の理解に努めてきました。これからの従来からの法人理念等は大切にしつつ、

いう難しさを感じることもありましたが、単なる業務ではなく、子ども達の成長や人生に深く関わることであり、とても尊い営みであることを実感しています。園の運営面では、まずは保護者の皆さまとの信頼

自己満足・独りよがりではなく、保護者の皆さまを始めとする関係する方々のニーズをしっかりと捉え、それにあつた価値を生み出し続けていきたいと考えています。

またまた知識、経験不足を感じる毎日ですが、輔仁会の理念である「子どもたちに最善の喜びと幸せを、子育てに夢と力」という言葉を体現していけるよう、各園の職員とともに、研鑽を重ね、よりよい園の形を追求してまいります。

これからもう一度、温かく、そして時に厳しく指導いただければ幸いです。引き続きよろしくお願い致します。



やれる時に、やれる人が、やれることをやろう

2025年度 父母の会 会長 山中 隼也



平素より父母の会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年に引き続き、今年度も父母の会会長を務めさせていただくことになりました山中隼也です。これまでのOB・OGの皆様の素晴らしい軌跡を引き継いでいけるよう一層の精進を重ね、子どもたちや保育園のために邁進して参りますので、よろしくお願い致します。さて、今年度も『やれるときに、やれる人が、やれることをやろう』をモットーに、父母の会活動を行っていききたいと思います。

今年のボランティア清掃では、園長先生のご厚意で普段子どもたちが食べている給食を食べさせていただき、子どもたちが普段とても美味しい給食を毎日食べていることを知ることができました。

さらに、青組、白組、赤組と各組の保護者に別れて給食をとらせて

いただき、保護者間の交流をはかることができ、貴重な機会となりました。これからも引き続き、健康と安全管理を第一に考え、子どもたちが楽しくのびのび過ごせるよう、父母の会の皆様でつぼみ保育園をバックアップしていきたいと思ひます。

先生方におかれましては、いつも子どもたちや私たち保護者一人ひとりと真剣に関わってください本当にありがとうございます。子どもたちが楽しく園に通い、私たちが安心して仕事が出来ると先生方のお陰です。心より感謝申し上げます。

これから、運動会、秋祭り、音楽発表会とたくさんの行事が続いていきます。みなさん体調には十分に気をつけて、お子ども、先生方との楽しい思い出をたくさん作って行けたらいいと考えておりますので今後ともよろしくお願い致します。

電話にカメラの機能を備え、音声や文書、画像、動画まで送受信可能。どこからでもネットにつながってラジオやテレビ、財布の代わりにもなる。こんなに高機能なのに手のひらサイズのスマホを子ども達の頃が私が見たら、きつと魔法が手品だと思ってしまう。でも、今の子ども達にとっては生まれたときから身近にある当たり前の道具です。デジタル技術は人々の生活を便利にし、教育現場でも重宝されるようになり、また、スマホの普及と高機能化でインターネットはより身近になり、子ども達の遊びの中にもスマホやタブレット、ペイペイなどが見られるようになりました。つぼみ保育園でも、登降園やアンケートを管理す

るアプリ、一斉送信のほじゅんメール、ホームページのブログや各種おたより配信など、便利に使っています。スマホは私たちに必要不可欠品になりました。便利で楽しいスマホですが、使い方によっては、骨格の変形や視力の低下、言語発達の遅れ、コミュニケーション能力の低下、中毒・依存による生活リズムの乱れなど健康障害の原因になるため、世界の国々が子ども達のスマホなどデジタル機器の使用に警鐘を鳴らしています。保護者の方がルールを決めて、適切に管理する必要があります。また、ネット上でのトラブルや事件も増えています。人権を侵害したり他者へ悪影響を及ぼさないように

人工知能の進化も著しく、ソーシヤルメディア発展のスピードについていくのは大変ですが、その動向の把握に努め、問題や疑問が生じた際はよく話し合い考えて対応することが大切だと感じています。

デジタル社会と子どもたち

園長 小島 千枝

注意と配慮等が求められています。保育園も、情報発信に努める一方で個人情報保護の義務があります。そのため毎年度初めにお子さんの写真等の使用について保護者の方の意思確認をしています。昨年度は新たに、園行事などにおける保護者の方のSNS等の利用についてルールをお示ししました。そして今年度は、体操服のゼッケンについて職員間で繰り返し話し合いました。



「避難訓練の見直し」

～常に情報収集しスキルアップする意識を持つ事は大切～

主任保育士 西村美香



↑ 柵の隙間に脚をかけて入ってこられることを教えていただきました。(2021年度)

大切な子ども達をお預かりする保育園職員として、常に防災意識を持ち続けることが大切だと思います。日頃から災害情報の収集を行い、必要に応じて職員間で共有することが大切なので、朝礼やタブレットの掲示板を使って伝達したり、会議などで話し合いをしています。

火災・震災・高潮・防犯等の避難訓練は毎月1回ランダムな時間で実施しています。

そのうち防犯訓練については、避難のみを行う方法に限界があったため、2021年度には東警察署の方による指導を受け、不審者対応や日頃の心構え、施設での対策、発生時の対応等について確認しました。2021年度～2024年度は年1回、警察署の方による夜間学習会を行い、職員の防犯意識向上に努めました。その後は、実際の防犯避難訓練の様子を警察署の方に見ていただき、評価していただきました。指摘事項として、①避難している

子ども達の様子が見える、②子ども達と避難している職員への状況伝達方法がない、③職員と不審者との距離の近さや対応人数の多さに却って逆上させる可能性がある、などが挙げられました。これらを受け、各クラスでの反省や意見を集約し、防犯係が中心となって改善策を検討した上で、避難場所や内線電話機能の再確認をしました。その後も、遊戯室を使って早朝・日中・延長保育時それぞれに応じたシミュレーション訓練を行い、職員全員が迷わず対応できるように検討・

実践・評価を繰り返して行っています。

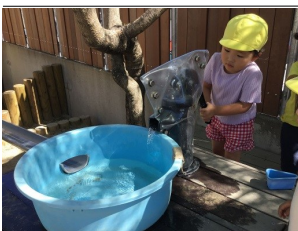
これらの取り組みは防犯訓練に限らず、保育園の運営全般において職員間で情報共有に活かされており、課題解決や組織力向上の一助となっています。このように、常にスキルアップする意識を持ち続けるつぼみの職員集団は私の自慢です。

↓ 時差勤務での役割を確認している所です。(2025年度)



「夏の遊び ～みずあそび～」 保育士 猿渡健一

今年も暑い夏がやって来ました。夏と言えば「みずあそび」。子どもたちの大好きなあそびの一つです。今年の1月に園庭改修工事が終わり、新しい遊具等で遊ぶようになりました。築山は頂上に水が汲みだせるポンプが設置され、「ポンプ山」という名称になりました。そして夏、いよいよポンプが解禁になり、現在「みずあそび」を楽しんでいます。2歳児クラスでは水路を組み合わせて砂場まで水を流すことを楽しんだり、年長クラスでも複雑に水路を組み合わせて遊びの幅が広がるようにしています。また、年長クラスでは毎週月・水・金曜日に屋上のプールで遊んでいます。一日2クラスずつ交代で入り、8月末にはウォータースライダーをしました。「みずあそび」は楽しい反面、危険と隣り合わせということを私たち職員は常に意識し、この暑い夏を水という素材を生かして楽しんでいます。



↑ ポンプで水を汲みだして遊びます。2歳児の子たちも上手に出来ます。



↑ 水が流れていくのを見たり触れたりして遊んでいます

2025年度 職員一覧	
(9月1日現在 63名)	
園長 小島 千枝	
本園	
主任	西村 美香
副主任	幾度 良恵
主査	猿渡 健一
給食主任	岩崎 真樹
事務主任	大浦 理絵
もも組	吉郷 文・小城 香帆
	大塚 菜央・大浦 理絵
	川口 ますみ・小西 真弓
	秦 祐美
うめ組	本田 明理・浜川 真輪
	柴田 彩佳・川端まい
	越治 和代・折居 香織
	阿部 俊子
さくら組	福崎 夏弥・下条 悠真
	猿渡 健一・中島 未来
	小田 晃子・星野 由起
	田中 孝子・黒川 祥佳
すみれ組	田中 孝子・黒川 祥佳
	富永 真理子
	田中 茄徳・竹村 翼
	れんげ組
つくし組	大川 未来・小田原 明香
	石橋 優希・花田 沙樹
	わらび組
	南 奈花・西村 真樹子
なずな組	向古 鈴穂・江上 美香
	岩永 松枝・内田 久子
	小野原 春菜
	年長フリー
保育支援者	米村 美智子・野崎 絵美
	松藤 砂智子・奥村 津矢
	田中 名留美
	給食員
給食員	岩崎 真樹・福島 千春
	河津 和美・久保 淳子
	岡崎 千代・徳永 悠香
	豊福 真由美・石野 秀美
事務	梶丸 さおり
用務員	岩崎 直子・宗 知紀
分園	
分園主任	宮川 京子
保育士	佐藤 結菜・市川 優羽奈
	津田 豊子・野田 美和子
	長田 佑佳・肥塚 麻衣子
	保育支援者
保育支援者	代田 和子

↑ テント下の日陰で水あそびをしました。

今年、すめ・れんげ・1階の床の研磨と塗装をしました。特にすめ組は床の消耗が

2025年度 父母の会役員

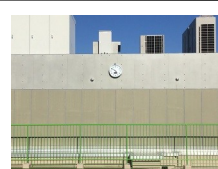
会長	山中 隼也 (つくし)
副会長/会計	兼田 智行 (れんげ)
副会長/書記	中村 章俊 (さくら)
会計	吉浦 未貴 (つくし)
書記	秋重 大輝 (すみれ)
監事	山田 絵里香 (なずな)
	鹿毛 英美香 (うめ)
委員	森田 英資 (すみれ)
	石井 竜之有 (すみれ)
	井上 真美 (なずな)
	高良 周作 (なずな)
	田中 寛泰 (わらび)
	中本 碧 (つくし)
	谷口 湧哉 (なずな)
	阿部 真由美 (つくし)
	三ヶ島 芽生 (わらび)
	秦 英敏 (さくら)
おやじの会々長	

新しくなった園庭で遊んでいます。新しくなった園庭には、総合遊具からポンプ山へ行き来できるネットトンネルが付き、トンネル滑り台も追加され、遊びの幅が一層広がりました。また、砂場の水はけがよくなり、ミストが出るパターも追加されています。子ども達は砂遊びを満喫しています。



「ハートの空想館」つくし・わらび・なずな組の押し入れの幅を拡張したり、扉の形状を変えたり、棚板をなくした

「1P1D」で時間を見ていました。が、所持していないときに困っていました。今は安心して屋上で過ごしています。



「1P1D」で時間を見ていました。が、所持していないときに困っていました。今は安心して屋上で過ごしています。

令和7年度の父母の会ボランティア清掃で、もも・うめ組の庭の整地をしていただく際に、職員の名刺をのせた砂場をのせたお手伝いもしていただきました。お気に入りの場所に入り、スコープやお皿などをとって楽しんで遊んでいます。



令和7年度の父母の会ボランティア清掃で、もも・うめ組の庭の整地をしていただく際に、職員の名刺をのせた砂場をのせたお手伝いもしていただきました。お気に入りの場所に入り、スコープやお皿などをとって楽しんで遊んでいます。

